

凌霜

りょうそう

郡上市の教育理念

「凌霜の心で拓く明日の郡上市」

「凌霜の心」高い志と不屈の精神・感謝の心

創作オペレッタ

『東氏ものがたり』

常縁：古今伝授はすべて終
えました 都へ旅立たれ
る時がきました

宗祇：常縁様 本当にあり
がとうございました

〔中略〕

合唱♪花を詠み 風を詠む
移り行く季節の歌
人を恋い 人を愛し
いとおしむ心の歌
千年の昔より 歌い継が
れる 大和の歌 大和の
心
次の世までも 歌い続け
よ 今この時も 生きる
希望を 確かめる よう
に 歌い続けよ 千年の
時を超えて 今もなお
美しいやまとつた
〈現在制作中のシナリオより〉

これは、創作オペレッタ「東氏ものがたり」の第三幕、フィナーレの場面です。オペレッタは「小さなオペ」とも呼ばれ、

台詞の部分と音楽（歌唱）の部分で構成されます。

主人公の東常縁は、郡上郡山田庄を治めていた郡上東氏九代目であり、連歌師宗祇への古今伝授で有名です。

優れた武将でもあり、將軍の奉公衆として、時の將軍足利義政の命を受けて関東での戦いに明け暮れた常縁ですが、幼少より和歌に親しみ当時の日本を代表する歌人となりました。

当時の武士にとって和歌を詠むことは当然のたしなみであり、その歌は自らの生き様を表すものでもありました。常縁の和歌からは、何よりも郷土を愛し平和を願う、優しい思いやりの心が伝わってきます。令和を生きる郡上の子供たちにも伝えていきたい心です。

本年8月に創作オペレッタ「東氏ものがたり」第1回実行委員会が開かれ、令和5年末の上演を目指して活動がスタートしました。実行委員の皆さんは、脚本・作曲・演出・衣装・舞台・照明・音響・広報に至るまで、すべて地元メンバー。ま

さにオール大和・オール郡上の手作りオペレッタです。

令和3年は郡上東氏800年・古今伝授550年の節目の年、令和6年には大和地域の四小学校が統合し、新しい小学校が開校する予定です。この取組

みはそれを記念する意味を持ちますが、それだけではありません。「郷土への誇りと愛情を育てる」「多様な表現活動を通して豊かな表現力を身に付ける」「和歌など日本の文化に親しみ大切に

する」「この取組を通して4小学校の子供たちがつながり、助け合いや協力のすばらしさを学ぶ」「学校・家庭・地域が協働し、持続可能な地域づくりを目指す」「どれもこれからの「人づくり」「地域づくり」に欠かせない重要な要素です。

具体的には、令和5年度の5・6年生が出演・合唱を担当する予定です。それまでの取組を通して、4小学校のすべての児童が東氏の歴史や和歌を学んだり、協力して活動したりできるようにします。

この取組みが一回の記念行事

で終わることなく、新しくスタートする小学校の伝統となることを期待しています。またこの取組は、大和地域だけでなく、市内各地域の歴史・文化・自然などを生かした特色ある取組みに発展する可能性も秘めていると考えます。上演が近づいたらプロモーションビデオなどで紹介する企画もあります。ぜひ楽しみにしてください。

▶県内には郷土の歴史や昔話をオペレッタにして毎年上演している小学校があります。

写真は岐阜市のサラマンカホールで郡上一揆を題材にした「郡上義民の詩」を上演する小学校の様子です。（平成25年上演／岐阜市立加納小学校出演）

〈朝日新聞デジタル提供〉

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」
「輝く未来育てて支えて見守って」

子ども・若者を取り巻く環境が大きく変化する中、子ども・若者に関する様々な問題の深刻化や子どもに関わる事件等の発生、また、スマートフォン等の機器の普及により有害な情報に接触する危険性も増えています。

こうした諸問題に対応し、子ども・若者の健やかな育成や社会生活を円滑に営むことができるようにするための支援、その他の取組を図ることが重要となっています。

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」です。期間中は子ども・若者育成支援のための諸事業、活動が展開されます。

【今年度の重点事項】
子ども・若者の社会的自立支援の促進

生活習慣の見直しと家庭への支援

児童虐待の予防と対応

子どもを犯罪や有害環境等から守るための取組みの推進

子どもの貧困対策の推進
教育委員会社会教育課
67・1128